



コンポスト容器

《設置場所》

屋外の日当たりがよく、水はけの良い場所

※地面を10cmぐらい掘り起こして設置し、土をまわりに盛って安定させます。

《必要なもの》

- ・ 落ち葉・雑草・おがくず・土など（水分を調整するもの）
- ・ 小型のスコップ



Tシャツで作ったカバーをかぶせ、棒等を挟んでおくと、通気も良く、雨も降りこみません。



- ① 生ごみの水分をしっかりと切り、細かくして容器に投入します。同時に、生ごみと同量の乾燥した落ち葉や雑草・おがくず・土などを入れてしっかりと混ぜます。

ポイント

- ・ 水分が多すぎると腐敗したり、ウジ虫などが発生したりします。その時は、乾燥した落ち葉や雑草や剪定チップなどを加え水分調整をし、さらに米ぬか又は廃食用油を入れてよくかき混ぜて空気を入れます。
- ・ この方法は、空気を好む微生物の活動を利用するので、しっかりと混ぜて空気と触れさせます。
- ・ 天気の良い日にはふたを開けて、風通しを良くします。（この時、入口に布をかぶせるなどして、虫の侵入に注意してください。）

- ② これを繰り返し、半分位になったら容器をはずし、シートをかぶせて、3ヶ月放置しておきます。容器は別の場所に設置します。
- ③ 3ヶ月後、黒くなり臭いがしなくなれば、堆肥の完成です。
- ④ 数箇所交互に行うと効果的です。
- ⑤ できた堆肥は2～3倍の土と混ぜて使います。追肥としても使えます。